

希少なチョウの舞う里山「いいやま」



飯山市教育委員会事務局 学習支援課

飯山市の生物多様性保全の中核となる2団体

・北信濃の里山を保全活用する会

・天然記念物「黒岩山」保全協議会

北信濃の里山を保全活用する会

- 2004年：飯山市内でオオルリシジミの野生個体群を
奇跡的に偶然発見！
- 2006年：地区住民の方々へ説明会を実施し、
了解を得て有志で生息環境整備など活動を開始。
- 2007年：県の保護回復事業計画の指定種となり、
信州大学と連携して調査研究を開始。

ところが、・・・

- 2010年：成虫確認数の減少、採集者の形跡？
- 2011年：生息を公表、一般からも保護活動を募り・・・

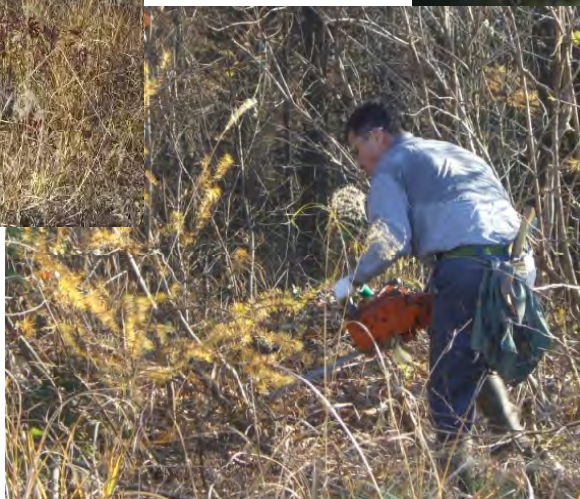
同年、市教委も事務局として参加し、

「北信濃の里山を保全活用する会」発足！！

「人と動植物のにぎわい」を復活させ、里山を元気にすることを目的とし、精力的に活動中！！

オオルリシジミ生息地の環境整備

灌木伐採による
草地環境の維持



※課題

- 整備労力の確保
- 草地の利活用

オオルリシジミ 観察会の実施

SAVE JAPANプロジェクトの
助成金協力もあり・・



2012年6月17日



2012年6月24日

長野県NPOセンター
日本NPOセンター
(株)損保ジャパン との
協働プロジェクト

天然記念物「黒岩山」保全協議会

- 1971年：ギ 7fョウ・ヒメギ 7fョウの混棲地などから、「山」自体が国の天然記念物として指定される。
- 1972年：地元有志の協力のもと、生息調査・巡視パトロール等を開始。
- 1984年：ヒメギ 7fョウの減少から文化庁より補助を得て、84～86年の3ヵ年で保護増殖事業を実施。
ところが、.....
- 依然、ヒメギ 7fョウは減少傾向を辿り、農林業従事者の減少などから山は放置され・・ このままでは・・
- 2003年：地元有志が発起し市教委も事務局として、「天然記念物「黒岩山」保全協議会」発足！！
黒岩山の環境保全のため精力的に活動中！！

黒岩山の環境整備

雑木林の伐採及びウスバサイシンの
移植による生息環境の維持



※課題

- ・整備労力の確保
- ・地元住民の担い手不足

ギフチョウ・かたがひ群生地 観察会の実施

2012年は大雪の影響もあり、
遅めの5月26日に実施



市内外の自然愛好家が
毎年大勢訪れています。

協力

県自然保護課

県環境保全研究所

北信濃の里山を保全活用する会

ほか

地域連携することによる行政のメリット

必要な人材の確保やきめ細かな保全活動の実現

- ・ **調査、モニタリング等におけるメリット**
 - ・ 地域住民や会員の機動性を活かした対応が可能
 - ・ 専門知識をもつ会員により、調査がスムーズ
- ・ **区域内パトロール等のメリット**
 - ・ 違法採取等の見回りも地域住民ならではの機動性
 - ・ 行政では対応しにくいフルタイムに近い対応が可能
- ・ **環境整備作業におけるメリット**
 - ・ 環境意識の高い人材による配慮の細かい環境整備
 - ・ 行政では対応しにくいコスト面の削減

行政と連携することによる団体、地域のメリット

活動資金の援助や公的機関等への繋がりの確保

- ・ **活動資金におけるメリット**
 - ・ 行政の継続的な活動資金の援助による資金の安定化
 - ・ 公的機関や企業への援助相談窓口の確保
- ・ **環境保全活動におけるメリット**
 - ・ 整備作業等へ行政側の人員協力が可能
 - ・ 行政を窓口とした市民や企業等への呼びかけが可能
- ・ **観賞会等イベントにおけるメリット**
 - ・ 専門知識を持つ行政職員の対応が可能
 - ・ 行政ならではの広範囲な広報が可能

地域連携により飯山市が目指すもの

- ・ 地域の生物多様性に対する「意識」の共有
- ・ 地域の生物多様性に対する「自慢」の共有
- ・ 地域の生物多様性に対する「課題」の共有
- ・ 地域の生物多様性に対する「未来」の共有

地域の生物多様性に対する「意識」の共有

身近にある当たり前の自然、それは・・・意識しにくいもの・・・

だからこそ、住民一人一人がちょっとした「ずく」で
できることはなにか提案し・・・

行政や団体等の考えていることに興味をもってもらうことで・・・

住民一人一人との「意識」の共有を図ります

地域の生物多様性に対する「自慢」の共有

いいやまには全国的に希少な動植物がたくさんあります。

しかし、多くの市民がそれを知らないのが現状です・・

希少動植物に限らず、いいやまの自然そのものを紹介して・・

住民一人一人との「自慢」の共有を図ります。

地域の生物多様性に対する「課題」の共有

一人から地域までの「できること」の提案で・・

見えてくるいいやまの課題があります・・

環境整備や観賞会を通して、市民一人一人と
膝を突き合わすことで・・

対抗策を考えるための「課題」共有を図ります。

地域の生物多様性に対する「未来」の共有

「課題」を共有することで・・

美しい「いいやま」を後世に残していくためには、
今自分にできることは何なのかを住民一人一人が考え・・

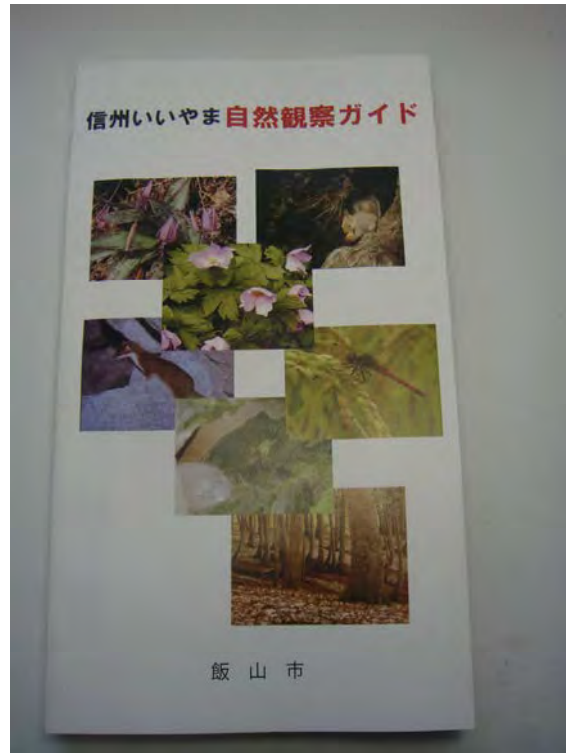
小さな個人から、大きな地域・行政を巻き込んだ
「ずく」を実行できるよう・・

「いいやま」の生物多様性の「未来」を共有していきます。

目標実現に向けての計画 1

市民向けガイドブックの普及促進

市民向けガイドブック 信州いいやま自然観察ガイド



飯山には、他にも・・・



オゼイトンボ(県絶滅危惧Ⅱ類)

メススジゲンゴロウ(県絶滅危惧Ⅰ類)



セグロイナゴ(県絶滅危惧Ⅰ類)



アサマシジミ(県準絶滅危惧)

目標実現に向けての計画 2

集落主催での自然観察会等の普及促進



集落で身近な自然観察会を開いていきたい



目標実現に向けての計画 3

率先した環境整備への参加促進



観賞会で意識を高め環境整備作業への参加を促していきたい



目標実現に向けての計画 4

観光振興との繋がりの実現

なべくら高原「森の家」



まだらお高原「山の家」



信越トレイルクラブ



いいやまつなの森倶楽部





(仮) 飯山版生物多様性保全計画書

現在策定中！！